

2023年度 日本工学院専門学校													
ゲームクリエイター科四年制/ゲームプランナー・ゲームプログラマーコース共通													
実践実習 4 B													
対象	3年次	開講期	後期	区分		必修		種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	藤澤 伸治			実務経験	有	職種	ゲームプログラマー						
担当教員紹介													
<p>担当教員は ゲーム会社での家庭用3Dゲーム開発に携わり、ソニー・Nintendo系の複数の開発経験がある。現職でも先端技術を取り入れつつ3Dゲーム制作に関わる各種教材の開発と授業運営、就職作品の指導を行っている。</p>													
授業概要													
<p>実際にチームを組みゲーム制作を行う。ゲーム制作を実際に行うことによりゲーム制作に必要なスキルを習得する。ゲームの企画を発想し企画書にまとめ、実装、ゲーム作品を完成させる。</p>													
到達目標													
<p>チームを組むことでゲームを企画し制作して完成させる。完成までの流れを体験することでゲーム制作に必要なプログラミングスキルだけでなくチームで活動することにより対人コミュニケーションスキルも身に付ける。また、作品の完成度によって、コンテストに応募、受賞を目指す。</p>													
授業方法													
<p>教員側で指定されたチームでチーム制作を行う。チーム制作ではゲーム制作に必要なプログラミングスキルはもちろんデータの共有方法（バージョン管理）から授業以外でのコミュニケーション方法までゲーム制作に必要なスキルについて学ぶ。</p>													
成績評価方法													
<p>試験・課題 75% チームで制作した作品の完成度、スケジュールの達成度で評価 平常点 25% 授業態度（取り組み姿勢・挨拶・返事など）によって評価</p>													
履修上の注意													
<p>学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>													
教科書教材													
<p>毎回授業にて資料を提示する 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>													
回数	授業計画												
第1回	制作班の発表、オリエンテーションを実施し、制作班で企画作業を開始する												
第2回	教員による企画チェックを実施し、承認されるまでチェックを続ける												
第3回	各班で作業分担し、α版を完成させるための作業を行う												
第4回	教員によるα版チェックを実施し、承認されるまでチェックを続ける												
第5回	各班で作業分担する												

2023年度 日本工学院専門学校	
ゲームクリエイター科四年制/ゲームプランナー・ゲームプログラマーコース共通	
実践実習 4 B	
第6回	β版を完成させるための作業を行う
第7回	β版を完成させるための作業を行う
第8回	β版を完成させるための作業を行う
第9回	教員によるβ版チェックを実施し、承認されるまでチェックを続ける
第10回	各班で作業分担する
第11回	マスタ版に向けて追加作業をする
第12回	マスタ版に向けて追加作業をする
第13回	ブラッシュアップ作業を行う
第14回	教員によるファイナル版チェックを実施し、最終的な成績評価も実施する
第15回	完成作品のプレゼンテーションを実施する